

ゆきみらい2018 in 富山

温か〜いまちづくりで世界につむぐ

ガイドブック



開催日

平成30年 **2月8日(木) 9日(金)**

入場無料

開催場所

富山県民会館

[シンポジウム、研究発表会、見本市など]

富山県五福公園 (屋外)

[除雪機械展示・実演会]

ゆきみらいシンポジウム

日時 **2/8(木)** 14:00~17:00

会場 **富山県民会館**
2階/ホール

ゆきみらい研究発表会

日時 **2/9(金)** 9:30~16:15

会場 **富山県民会館**
2階/ホール 3階/304会議室

除雪機械展示・実演会

日時 **2/8(木)** 10:00~16:00
2/9(金) 9:00~15:00

会場 **富山県五福公園**

オープニングセレモニー▶2/8(木)10:00~

ゆきみらい見本市

日時 **2/8(木)** 10:00~17:00
2/9(金) 9:00~16:00

会場 **富山県民会館**
1階、地下1階

オープニングセレモニー▶2/8(木)10:00~

同時開催



主催/ゆきみらい2018 in 富山 実行委員会

国土交通省 北陸地方整備局、北陸信越運輸局、富山県、富山市、東日本高速道路株式会社 新潟支社、中日本高速道路株式会社 金沢支社、一般社団法人 日本建設機械施工協会、一般社団法人 北陸地域づくり協会、公益社団法人 雪センター、国立研究開発法人 土木研究所 雪崩・地すべり研究センター、国立研究開発法人 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター、富山商工会議所、公益社団法人 とやま観光推進機構、富山市観光協会、一般社団法人 富山県建設業協会、富山市建設業協会

後援/文部科学省、農林水産省 北陸農政局、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国積雪寒冷地帯振興協議会、全国雪寒都市対策協議会、全国雪対策連絡協議会、新潟県雪対策協議会、富山県雪対策協議会、石川県雪対策協議会、公益社団法人 日本雪氷学会、日本雪工学会、一般財団法人 日本気象協会、富山県商工会議所連合会、朝日新聞富山総局、産経新聞社、毎日新聞富山支局、読売新聞北陸支社、日本経済新聞社富山支局、時事通信社富山支局、北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞、NHK富山放送局、北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送、ケーブルテレビ富山、FMとやま

開催のテーマ

温か～いまちづくりで世界につむぐ

開催にあたって

今回の「ゆきみらい2018in富山」は9年ぶりに富山県で開催します。

全国の積雪地では、除排雪をはじめ、雪を克服するハード・ソフト技術のほか、雪を資源として積極的に活用する様々な試みが展開されています。しかし一方では、人口減少や高齢化の進展が深刻な課題となっています。

今回の開催地である富山県では、「協働で支える元気な雪国」「安全・安心な雪に強いまちづくり」「豊かな雪の文化の継承と創造」の3つの基本目標をもとに、地域ぐるみで行う除排雪や高齢者世帯への支援、五箇山をはじめとする豪雪地において、雪が育む文化の継承や、雪を観光資源に活用し、雪がもたらす独自の文化を大切にしたい地域活性化やまちづくりが行われています。

雪国の「温か～いまちづくり」について、様々な分野から取組をご紹介しますとともに、北陸新幹線開業で注目を浴びる北陸圏から冬の魅力を広く発信する機会にしたいと考えております。

ゆきみらい2018 in 富山 実行委員会一同

CONTENTS

開催テーマ・開催にあたって	1
会場案内図 スケジュール	2
ゆきみらいシンポジウム	3
ゆきみらい研究発表会	5
ゆきみらい見本市	7
同時開催 富山のいっぴんマルシェ	20
除雪機械展示・実演会	23

表紙写真のご紹介



呉羽山より望む立山連峰



五箇山菅沼合掌造り集落



立山黒部アルペンルート
雪の大谷



しろえび



ますのすし

会場案内図

3階



8階



2階



1階



地下1階



スケジュール

ゆきみらい2018	2月8日 (木)	2月9日 (金)
ゆきみらいシンポジウム 開催場所：富山県民会館 2階／ホール	14:00～17:00	
ゆきみらい研究発表会 開催場所：富山県民会館 2階／ホール 3階／304会議室		9:30～16:15
ゆきみらい見本市 同時開催 富山の いっぴんマルシェ 開催場所：富山県民会館 1階／ロビー・美術館 地下1階／展示室	10:00～17:00 オープニングセレモニー 10:00～	9:00～16:00
除雪機械展示・実演会 開催場所：富山県五福公園	10:00～16:00 オープニングセレモニー 10:00～	9:00～15:00
交流会 (有料) 開催場所：富山県民会館 8階／バンケットホール	17:30～	

ゆきみらいシンポジウム

開催日

2/8木 14:00~17:00

会場

富山県民会館
2階/ホール

富山県はダイナミックで変化に富んだ地形を有し、美しく豊かな自然環境に恵まれ、貴重な自然や景観が残された地域です。一方、古来より急峻かつ脆弱な地形や日本を代表する暴れ川への対応、冬の寒さや積雪など厳しい自然環境と対峙し共存に努めてきました。

厳しい自然環境は、季節の変化に富み、多様な観光資源を生み出し、例えば、世界有数の豪雪地帯である五箇山地域では、合掌づくりなどの建築様式や「結い」に代表される独自の地域文化を築いてきました。

ゆきみらいシンポジウムでは、雪国富山の様々な分野の取り組みから「冬の温かさ」を再発見し、さらに「雪国の魅力」に磨きをかける提案を発信します。

プログラム

時 間	内 容
13:00	開場・受付開始
14:00	●開会挨拶 ●来賓挨拶
14:30	特別講演 『雪国富山 ブラ歩きで見える明日の未来』 NHK 編成局コンテンツ開発センター チーフ・プロデューサー 尾関 憲一 氏
15:30	休憩 (10分)
15:40	パネルディスカッション 『温か~いまちづくりで世界につむぐ』 ●コーディネーター 富山大学教授 地域連携推進機構副機構長、地域連携戦略室長 金岡 省吾 氏 ●パネリスト NPO 法人 このゆびとーまれ理事長 惣万 佳代子 氏 富山県立山カルデラ砂防 博物館学芸課長 飯田 肇 氏 和歌山大学観光学部 准教授 永瀬 節治 氏 温泉エッセイスト、VISIT JAPAN 大使 山崎 まゆみ 氏
17:00	●閉会

特別講演

『雪国富山 ブラ歩きで見える明日の未来』

1988年早稲田大学教育学部国際国文科卒業。同年NHK入局。
NHKで数々の番組制作を手がけている。
2009年に初代プロデューサーとして「ブラタモリ」を立ち上げる。
2009年から2011年まで「ブラタモリ」をプロデューサーとして担当。
現在は、NHK編成局コンテンツ開発センターチーフ・プロデューサー（BSプレミアム「2度目の旅」などを担当）
書著に「時代をつかむ！ブラブラ仕事術」（フォレスト出版）



NHK編成局コンテンツ開発センター
チーフ・プロデューサー

尾関 憲一 氏
(おげき けんいち)

パネルディスカッション

『温か～いまちづくりで世界につむぐ』

コーディネーター

富山大学教授
地域連携推進機構副機構長
地域連携戦略室長

金岡 省吾 氏
(かなおか しょうご)



都市銀行のシンクタンクにて地域再生・地域経済・物流等の調査研究に従事。

2006年からは富山大学にて魚津市、高岡市、舟橋村他と産官学協働による地域課題解決（地域イノベーション創出）の仕組みを構築する等、新たな国土形成計画にて提唱されるソーシャルビジネスによる共助社会づくりに挑戦。

パネリスト

NPO法人
このゆびとーまれ 理事長
惣万 佳代子 氏
(そうまん かよこ)



1951年生地町（現黒部市）生まれ。富山赤十字高等看護学院卒業。1973年から富山赤十字病院に看護師として勤務。

1993年に退職し看護師仲間と富山市富岡町で民営デイケアハウス「このゆびとーまれ」を開所、子供、お年寄り、障害者が一つ屋根の下で過ごす「富山型デイサービス」を始める。1999年県内初のNPO法人となる。2015年「第45回フローレンス・ナイチンゲール記章」を受賞。その他、数多くの賞を受賞している。

パネリスト

富山県立山カルデラ砂防博物館
学芸課長

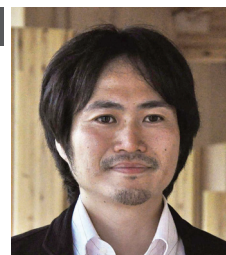
飯田 肇 氏
(いいだ はじめ)



1987年名古屋大学大学院理学研究科博士後期課程修了、2003年～富山県立山カルデラ砂防博物館学芸課長。立山や立山カルデラの自然や災害を中心テーマとして博物館活動を行っている。調査研究として、立山地域の積雪、氷河、雪崩、気象調査等を継続して実施。博物館研究チームとして2012年に日本初の現存する氷河を発見した。また学生時代から、ヒマラヤ氷河学術調査隊、ヒマラヤ登山遠征隊等に多数参加している。国土交通省雪崩災害防止功労賞（2011）秩父宮記念山岳賞（2005、2013）をはじめ、多数受賞あり。

パネリスト

和歌山大学観光学部
准教授
永瀬 節治 氏
(ながせ せつじ)



2003年東北大学工学部建築学科卒業。2009年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了。東京大学先端科学技術研究センター助教等を経て、現職。専門は都市計画、まちづくり、歴史的環境保全。地域に応じて多様な空間、景観、歴史、生業や生活文化を把握しながら、それらの地域資源の活用、さらに生活と観光が共存・融合した持続可能なまちづくり・地域づくりのあり方について研究。「南砺市五箇山世界遺産マスタープラン」の策定にアドバイザーとして参画。共著に「図説都市空間の構想力」（学芸出版社、2015）など。

パネリスト

温泉エッセイスト
VISIT JAPAN大使
山崎 まゆみ 氏
(やまざき まゆみ)



1970年新潟県長岡市生まれ。新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどで温泉の魅力を紹介。訪れた温泉は31カ国、1000カ所にのぼる。「おひとり温泉の愉しみ」（光文社新書）、「バリアフリー温泉で家族旅行」（昭文社）など著書多数。跡見学園女子大兼任講師、首都大学東京非常勤講師。

ゆきみらい研究発表会

開催日

2/9金 9:30~16:15

会場

富山県民会館

2階／ホール 3階／304会議室

特定テーマ

「異常降雪への備えと対応」

キーワード

災害対策基本法、雪氷予測、非常時対応、情報提供、除雪連携、ドライバー支援、大規模災害、大雪、吹雪、雪崩、災害復旧、地域防災力

セッションⅠ

「冬期道路管理のICTと担い手」

キーワード

ICT、新技術、コスト削減、路面管理、凍結防止剤散布、除排雪作業、雪氷対策、雪崩対策、高齢化、担い手、技術の伝承

セッションⅡ

「地域に根ざした雪国の生活と観光」

キーワード

官民協働、住民参加、親雪、利雪、克雪、冬期VSP、民間ボランティア、冬季観光、インバウンド、SNS、雪国文化、地域活性化

プログラム

第1会場 2階／ホール

9:00~9:30 開場・受付開始

9:30~9:40 開会挨拶

北陸地方整備局 道路部長 岩見 吉輝

特定テーマ	異常降雪の備えと対応①
1	9:45~10:00 平成28年1月集中降雪の検証と対応策について 国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 管理第二課 吉田 幸矢
2	10:00~10:15 雪通行止め時間の短縮に向けたチャレンジ 中日本高速道路(株) 名古屋支社 保全サービス事業部 保全チーム 吉田 泰規
3	10:15~10:30 情報連絡本部での情報共有化の試み ~新潟国道事務所での取り組みより~ 国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所 雪害防災減災課 今井 ひとみ
4	10:30~10:45 「異常降雪への備え」~異常降雪に対応する除雪計画策定のために~ 国土交通省 北陸地方整備局 北陸雪害対策技術センター 北陸技術事務所 雪害防災減災課 渡邊 俊彦
休憩	
特定テーマ	異常降雪の備えと対応②
1	10:55~11:10 遠赤外線融雪装置による雪崩堆雪エリアの融雪について (株)ネクスコ・メンテナンス新潟 湯沢事業所 佐藤 秀平
2	11:10~11:25 雪氷対策作業の効率化とそれに向けた取り組み、組織としての雪氷対策作業の向上 中日本高速道路(株) 名古屋支社 彦根保全・サービスセンター 小林 尚登
3	11:25~11:40 登坂不能車データ分析ツールの開発と冬期道路管理への活用について 開発技研(株) 齋藤 雅春
4	11:40~11:55 雪氷期における走行環境向上の取り組みについて (株)ネクスコ・メンテナンス新潟 湯沢事業所 保全課 岩佐 卓也
5	11:55~12:10 お客さま支援ツール「除雪 NAVI」で冬期のご利用を快適に！ 中日本高速道路(株) 金沢支社 保全・サービス事業部 保全計画チーム 坂 宗樹
休憩	

第2会場 3階／304会議室

9:00~9:30 開場・受付開始

セッションⅠ	冬期路面管理、効率化①
1	9:45~10:00 浅層地下水の循環利用による無散水融雪 -鉄、遊離炭酸、細砂への対応- 国立大学法人 福井大学 産学官連携本部 宮本 重信
2	10:00~10:15 夏の熱を群杭効果で地中保存した融雪 -近年の維持管理と設計施工での技術開発- 福井県工業技術センター 奥田 広行
3	10:15~10:30 ロードヒーティングにおけるコスト削減の取り組み 札幌市 建設局 土木部雪対策室 事業課 柴田 雄史
4	10:30~10:45 融雪パネルを活用した融雪装置の開発について ~除雪作業労力の削減に向けて~ 東日本高速道路(株) 新潟支社 上越管理事務所 山田 恵太
休憩	
セッションⅠ	冬期路面管理、効率化②
1	10:55~11:10 非塩化物系凍結防止剤の開発に関する研究 -コハク酸二ナトリウム六水和物の利用可能性の検討- (国研) 土木研究所 寒地土木研究所 高橋 尚人
2	11:10~11:25 塩化ナトリウムに替わる新たな凍結防止剤の適用性検討 -室内および試験道路での性能試験- (国研) 土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 寒地交通チーム 佐藤 賢治
3	11:25~11:40 塩化ナトリウムに替わる新たな凍結防止剤の適用性検討 -現場における施工性検討- 中日本高速道路(株) 金沢支社 保全・サービス事業部 保全計画チーム 松浦 智典
4	11:40~11:55 定点画像と移動体画像の融合活用による冬期路面管理に有効なシステム開発について 山田技研(株) 徳永 透
5	11:55~12:10 大型車両の燃費に及ぼす路面雪氷の影響度の算定 (国研) 土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路保全チーム 丸山 記美雄
休憩	

雪国に住む多くの人たちが、安心・安全で快適な生活を続けるためには、雪氷技術の更なる開発・普及が重要です。ゆきみらい研究発表会は、今日的な課題である「異常降雪への対応」「ICTと担い手」「雪国の生活や観光」などに関する調査研究の情報交換・交流の場として展開します。

特定テーマ 異常降雪の備えと対応③		セッションⅠ	吹雪対策、雪氷対策
1	13:00～13:15 XバンドMPレーダ雨量計を活用した降雪把握と雪害ナレッジデータベース 国土交通省 国土技術政策総合研究所 今長 信浩	1	13:00～13:15 視程障害移動観測車による防雪柵開口部の視程急変の実態調査 (国研) 土木研究所 寒地土木研究所 小中 隆範
2	13:15～13:30 独自気象技術を用いた局地気象現象の把握・提供について (株)ウェザーニューズ 道路気象コンテンツサービス 竹内 茜	2	13:15～13:30 冬用タイヤ自動判別装置の開発と冬用タイヤ規制の運用検討について 西日本高速道路(株) 四国支社 保全サービス事業部 保全課 上島 慶
3	13:30～13:45 低気圧に伴う降雪と雪崩発生との関係について (国研) 土木研究所寒地土木研究所 松下 拓樹	3	13:30～13:45 除雪作業における安全への取組み (株)ネクスコ・メンテナンス東北 青森事業所 事業課 荒木 洸太
4	13:45～14:00 5冬期にわたるインターネットによる「吹雪の視界情報」提供実験の成果と今後の取組について (国研) 土木研究所寒地土木研究所 雪氷チーム 西村 敦史	4	13:45～14:00 北海道開発局における除雪機械体制と老朽化の見える化 国土交通省 北海道開発局 事業振興部 機械課 大上 哲也
5	14:00～14:15 X R A I Nを用いた冬期降水量の推定精度向上に向けてMPレーダによる粒子判別に関する取組み 国土交通省 北陸地方整備局 河川部 水災害予報センター 谷口 和哉	5	14:00～14:15 車両位置情報システムを活用した、写真撮影・送信機能の開発～実施評価と今後に向けた取組み～ 中日本高速道路(株) 名古屋支社 豊田保全・サービスセンター 総務企画課 北川 真史
休憩		休憩	
セッションⅠ ICT と担い手		セッションⅡ 官民協働・住民参加、その他	
1	14:25～14:40 歩道除雪車の作業ガイダンス装置の開発 国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所 施工調査・技術活用課 長谷川 崇	1	14:25～14:40 市民を対象とした雪結晶観察教室 (株)興和 藤野 文志
2	14:40～14:55 運搬排雪のICT化に関する基礎検討 国土交通省 北海道開発局 事業振興部 機械課 飯田 和彦	2	14:40～14:55 流雪溝を利用した除雪ボランティアと町おこしの取組み～北海道苫前町の事例～ 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 道路計画課 山木 正彦
3	14:55～15:10 ICT技術を活用した雪崩発生時の危機管理対応訓練～平成29年2月に実施した官民連携による雪崩対応訓練について～ 新潟県 南魚沼地域振興局 地域整備部 吉田 あみ	3	14:55～15:10 帯状ガイドライト試行導入効果検証報告～積雪地帯における運転操作性検証～ (株)ネクスコ・エンジニアリング東北 施設技術部 曾根 翔太
4	15:10～15:25 北陸地域の高速道路における雪氷対策作業の取組みについて 中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸(株) 保全事業部 水戸 光康	4	15:10～15:25 高速道路における自発光スノーボールの着雪対策について 東日本高速道路(株) 北海道支社 技術部 技術企画課 加藤 哲
5	15:25～15:40 1人乗り除雪グレーダの安全性向上の検討ー近接車両検知システムの開発ー 国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所 施工調査・技術活用課 大沼 玄樹	5	15:25～15:40 下水処理水を利用した新湊大橋の消融雪設備について 富山県 富山新港管理局 工務課 工務班 森田 竜成
6	15:40～15:55 新型除雪グレーダ導入による実証試験について 国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所 雪害防災減災課 池 伸明	6	15:40～15:55 ヒートポンプレス下水熱融雪施設における下水熱の有効利用に関する研究 (株)興和 小酒 欽弥
休憩 (会場設定替含む)		休憩 (会場設定替含む)	
16:05～16:15 講評 北陸地方整備局 道路部 道路調査官 小山 浩徳			

ポスターセッションのご案内

会場：富山県民会館3階 302号室 (ギャラリーD)
時間：10:00～15:00 (担当者説明 (コアタイム) 11:30～13:30)

発表題名	発表題名
寒地土木技術普及のための説明会参加者の満足度に関する考察	X R A I Nを用いた冬期降水量の推定精度向上に向けてMPレーダによる粒子判別に関する取組み
XバンドMPレーダによる地上降雪量の推定について	高速道路の路面管理の高度化に向けた取組みについて
ファインシート工法 (柔軟な粘着シートによる凍結抑制工法)	折板屋根の融雪方法／冷却方法
夏の熱を群杭効果で地中保存した融雪ー橋面とその前後ー	夏の熱を群杭効果で地中保存した融雪ー車道、駐車場、広場、歩道ー